

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	観光名所（職員）	来客数の動き	・有料施設を含め、来客数は対前年同月比で20%以上の増加と予想を超えている。
	やや良くなっている	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数はかなり好調に推移しており、それに伴い売上も既存店ベースでも何とか前年をクリアしている。要因としては、競合店の出店等もあるが、一方で閉店等もあり、その辺でシフトしたのではないかと予想される。
	変わらない	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新規店舗はある程度、順調な数字だが、設備等老朽化している旧店舗は著しく落ち込みが激しい。「新しい事」が、来店動機の大きな割合を占める。
			家電量販店（副店長）	単価の動き
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数の状況はやや改善しているものの、客単価が減少するなど全体的にはあまり変わってない。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・宿泊部門は順調に推移しているものの、地元客が大きくシェアを占める宴会部門、料飲部門が不調である。他社も含めて同じ状況であることから、景気の回復はまだだろう。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・海外旅行への客の減少が続いており、これを国内旅行でカバーできない状況である。
	やや悪くなっている	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・郊外大型ショッピングセンターオープンの影響が予想以上に大きく、来客数が前年と比べて二桁のマイナスとなっている。
			スーパー（企画担当）	競争相手の様子
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価が前年より下回っている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は横ばい状況で推移しているが、客単価は減少している。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	お客様の様子	・観光客も増加し順調に推移しているようにみえるが、客以上に同業他社店舗の増加がみられる。同業者、他商店街、ショッピングセンターなど供給する側が飽和状態の中で、多くの情報と商品を見分ける確かな目を持った客が適正な価格とサービスを求め各店舗間をてんびんにかける状態にあり、そこで価格競争におちいれば、ますます状況は厳しくなる。
			住宅販売会社（経営者）	販売量の動き
	悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・商店街では、現在観光関連の店舗が多くなっており、客割れ状態が起きている。加えて、観光客自体も以前に比べて客単価が下落しており大変厳しい状況である。一般の小売店はさらに厳しい状況である。
	企業 動向 関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注及び契約件数が増加している。
変わらない		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦も終り、物量の動きも落ち着いている。
		通信業（従業員）	受注量や販売量の動き	・以前より営業していた案件が正式に受注に至った。長期的な事業に発展する可能性のある案件であり、今後に期待できる。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規サービスの受注はあるものの、旧サービスの解約、旧サービスから新サービスへの変更も多く、結果受注量の増加に結びついていない。
		不動産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が現状のままでは客はつかないため、安く販売する動きが出てきているが、客からの問い合わせ等もあり、受注価格等にさほど変動はない。
やや悪くなっている		輸送業（営業担当）	競争相手の様子	・激しいダンピング競争による荷主の奪い合いが悪化しつつある。
		不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・問い合わせ客や、成約件数が減っている。

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数はやや増加傾向にあるが、例年に比べると増加率が低い。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人は、少しずつ増えている。ただ、単価そのものが非常に低くなってきている。具体的には、つい最近あったOA操作入札で時間単価が940円を切った。求人数が伸びても単価自体がどんどん値崩れの状態にあるため、それ程状況は変わらない。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・新規求人数は前年同月比で23.5%増加しており、その構成比は一般求人29.3%増、パート求人が56.5%増となっている。 ・産業別で見ると運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、建設業、製造業、サービス業で増加している。 ・求職者の要望労働条件である賃金、就業場所、待遇と求人側の求める技能、経験等でミスマッチが生じている。
	やや悪く なっている	学校[専門学校](就職担当)	求人数の動き	・県内雇用形態の特徴の一つとして、1月の求人は増加する。これは年末の賞与支給後に退職するパターンが多いからであるが、今年は例年に比べて特に事務職等の求人が減少している。
悪く なっている	-	-	-	